

令和7年11月21日

【文部科学省】

【概要書】

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構
令和6年度大学・高専機能強化支援事業
に関する報告書及び同報告書に付する
文部科学大臣の意見

標記の報告書を衆議院議長に提出いたしました。

連絡先は省略。

令和6年度「大学・高専機能強化支援事業」に関する国会報告の概要

(基金の執行状況及び管理状況)

- 令和6年度は、令和4年度に文部科学省において決定された「基本指針」に即して定められた助成業務の実施に関する方針を定め、大学・高専機能強化支援事業選定委員会等を設置して令和6年度公募を行い、97件を選定した。また、支援1に選定された大学を対象に、意見交換の機会や事業に関する情報を提供するための機能強化会議を令和7年2月に開催し、新たな取組として、令和5年度の支援1選定校によるポスターセッションを実施するとともにマスコミ各社に参加を促すなど、事業のPRを積極的に実施した。
- 令和6年度における基金の管理については、適切に執行管理を行うとともに、基金の運用を行った。その運用収入については、機構の資金運用基準に基づき、基金へ繰り入れを行った。
- 令和6年度の支出は21,233百万円であり、残高の273,944百万円（令和6年度末現在）は令和7年度以降の助成業務等に充当予定。

(文部科学大臣の意見の概要)

- 透明性・公正性に十分留意したものであり、適正であったと認められる。
- 文部科学省等と調整を図りつつ、公募・選定を行うなど、着実に事業運営を実施。